



松 明

(平成29年7月発行・隔月発行) 2017 vol.4



病院がプラネタリウム (4P)

看護の日イベント「出張！福島病院健康相談室」

看護の日実行委員会 高 野 真

「看護の日」として制定された5月12日は、皆様もご存じであるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。ナイチンゲールは、産業革命期を生きた一人の女性であり、環境汚染、世界戦争、伝染病によって多くの命が失われてしまった現状を憂い、一人の女性として人類の健康と幸せのためにあくなき努力を続けたといわれています。このような功績は、後世へと受け継がれ、5月12日を看護の日として全国の各地でたくさんのイベントを催すようになりました。

当院でも5月27日(土)にJA夢みなみファーマーズマーケットはたけんぼ様にて「出張！福島病院健康相談室」と題し看護の日のイベントを開催しました。内容は、血圧・血管年齢測定、安田千尋診療部長の健康相談、薬剤師のおくすり相談、栄養士の栄養相談、こども写真館(白衣を着て医師・看護師の姿で写真撮影)、アロマハンドマッサージを行いました。開催当初はあいにくの雨模様で心配でしたが、天候が徐々に回復し昨年度より

も多くの方々に参加して頂くことができました。特に血管年齢では85名と多くの方にご利用いただく大盛況でした。また、「こども写真館」でも10名以上のお子様たちが可愛いポーズをとりながら白衣をまとい、とても微笑ましい時間となりました。さらには、実行委員だけでなく職員ボランティアの方々も多く参加して頂き、それぞれが声を掛け合って協力し合う姿が多くみられ、福島病院の絆を改めて感じられる機会となりました。



本号のご案内

- 看護の日イベント「出張！福島病院健康相談室」…… 1
- 看護部だより 院内で「看護の日」イベントを実施しました！… 2
- 看護研究学会に参加して …… 2
- 「研修出席カード」で研修受講率アップ！ …… 3
- RST主催「世界で一番愉快地に人工呼吸器がわかる勉強会」開始 … 3
- 療育だより 「病院がプラネタリウム」を体験して…… 4
- 病棟に響き渡ったミュージックシェアリングの演奏 … 4
- 看護学校だより 学校見学会を開催しました …… 5
- 今年も華翔祭でお待ちしております！ …… 5
- 褥瘡・NST委員会共同勉強会「体圧分散と経腸栄養に関する褥瘡予防について」… 6
- 健康プラザ 薬の保管について …… 6
- 地域医療連携室だより 登録医のご紹介 折笠クリニック… 7
- 福島病院の七夕(たなばた) …… 7
- たんぼぼ保育園(院内保育園)『おみこしワッショイ!!』…… 7
- 外来担当医表 …… 8

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

看護部だより

院内で「看護の日」イベントを実施しました！

看護の心を届けます

第3病棟 看護師 熊田 美香

第3病棟では「看護の日」イベント週間に看護スタッフみんなで協力し、看護の日にちなんで手作りのナイチンゲールのオブジェを置いたり、ペーパーフラワーやポスターを貼ったりして、病棟内の飾り付けをしました。また、カラオケ大会も開催しました。患者様それぞれが仮装をしたり楽器を鳴らしたりして、とても盛り上がりしました。

看護の日のイベントを通して患者様の楽しんでいる様子やあたたかな笑顔をたくさん見ることができました。これからも看護の心を忘れず、より質の高い看護を提供できるようにしていきたいです。



屋久島の清流音によるヒーリングサウンド&森の香り

第6病棟 看護師 石井 千賀子

第6病棟では「看護の日」イベントとして、日常生活の中に患者様の聴覚と嗅覚に働きかける、ヒーリングサウンド&アロマセラピーを取り入れました。

入浴日の浴室にヒーリングサウンドとして屋久島の清流音を流し、アロマ・ディフューザーからは、森林のすがすがしい香りが漂う中で、患者様に入浴をしていただきました。目を瞑れば、「まるで雄大な自然の中で、キラキラと水しぶきを浴びているような！」心地良さとまではいかないまでも、患者様の穏やかな表情からはいつもと違った、おもむきのあるリラックス・バスタイムを、過ごしていただけたのではないのでしょうか。

今後も、患者様の穏やかな表情が出せるような関わりをしていきたいと思います。



看護部だより

看護研究学会に参加して

第3病棟 看護師 熊田 美香

6月10日(土)に国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加させていただきました。

今回、情緒が安定し患者様に穏やかで自分らしい入院生活を送ることができるような関わりについて、研究をまとめました。学会での発表は初めてだったため、緊張しましたが落ち着いて発表することができたと思います。また、他病院の研究発表を聞いて、興味や関心を持つだけでなく、日々の看護に活かせるような内容もあり、とても勉強になりました。研究の内容だけでなく、それぞれの発表の仕方やパワーポイントのまとめ方を見て、聞いている人に分かりやすく伝えるためには、どのような工夫をすれば良いかなど参考になる部分がたくさんありました。

学会に参加し、自分の実践した看護を振り返り、研究にまとめ、それを他者に伝えることで知識の確認や自身

の看護観を深める良い機会になりました。また、他者の意見を聞いて自分では気づくことができなかった部分を知ることができ、より理解を深めることができました。学会を通して学んだことをこれからの仕事に活かしていきたいです。また、患者様にとって今以上に安心安楽な入院生活を送れるようにこれからも頑張っていきたいです。



皆さんは「研修出席カード」のシールどれくらい溜まりましたか？最近、研修の度に忘れずに持ってきてくれて、「研修出席カード」も広く認知されつつあるのかなと思っています。

そもそも「研修出席カード」を作ったのは、研修に少しでも楽しみを持ってもらいモチベーションアップにつながればと思ったからです。私が以前勤務していた仙台医療センターでも、「研修カード」があり、そこからヒントを得ました。仙台では職員バーコード付きの研修カードで、そのバーコードを読み取ると、研修参加状況が分かるというハイテクなものでした。参加していないとお知らせが届くシステムです。

当院のカードは「手作り感満載でシールを貼るというアナログな方法」ですが、それが福島病院のアットホームな雰囲気に合っているかなと思っています。職員の皆さんからも「シール増えたらうれしいね」などの声も聞

かれ、作成者としてはうれしい限りです。

また、「全部溜まると何かもらえるんですか？」とよく聞かれますが、たくさんシールを溜めると何かいいことがあるかもしれませんよ。それは、今後の楽しみにということで、今後も研修参加にご協力お願い致します。



昨年度から重症心身障害児（者）病棟が3つに増え、ポストNICU・PICUに向けた本格的準備も活性化してきました。人工呼吸器の対象者が増えることや、人工呼吸器を扱う機会の少ない看護師も重心病棟へ配属となったこともあり、RSTが中心となり「人工呼吸器の勉強会」を企画しました。今年度は人工呼吸器の基礎編、来年度は応用編を行い、2年をかけ人工呼吸器に対する知識・対応力の平均化と向上を図っていきたいと考えています。7月からは勉強会にプラスして人工呼吸器を持って病棟をまわり、実際に装着してみるなどの「体験型学習会」も企画しています。

今年度の「人工呼吸器の勉強会」は5月～2月まで10回シリーズで行います。多くのスタッフが参加できるように同じ勉強会を月2回開催し、それでも参加できない方にはDVD視聴ができるようにしました。なおかつ、知識の確認として事後テストも実施中です。

講師の石井統括診療部長と河原田小児科部長から交代で呼吸のしくみやデーターの読み方、酸素化の計算方法などを教えて頂いています。「人工呼吸器の勉強会」と聞くと、「難しそう」とか「専門用語ばかりで分からない」などのイメージがありますが、イラストが多く簡単な言

葉で資料が作られているので、初心者でもわかりやすいと思います。皆さんも一緒に「世界で一番愉快に」人工呼吸器を学んでいきましょう。



6月7日(水)に重症心身障害児(者)病棟で「病院がプラネタリウム」が行われました。

山梨の甲府で、長期入院中の子ども達や、患者様にプラネタリウムを届ける活動をしている高橋真理子さん(星空工房アルリシャ)とアシスタントの学生さんがボランティアで来て下さいました。

療育訓練室での天井投影3回、5病棟プレイルームでのドーム投影2回、計5回の上映を行い、高橋さんのご好意により勤務後に職員向けの上映の時間も設けていただきました。

「家の電気を全部消したら夜空にはたくさんの星が見えるんですよ。目をつぶってカウントダウンしましょうか。自分で目をつぶれない人は周りの方の手を借りて 5・4・3・2・1・0・」という高橋さんの掛け声で目を開けると、訓練室の天井に空の景色が投影され、満点の星空が広がっていました。会場からは「うわー」と溜息がもれてきました。星空を眺めた後、空から地球の外へ飛び出し、まるで宇宙旅行をしている気分です。火星、木星、土星

が近づいて来て、あちらこちらで、その星をつかもうと手や足を伸ばしています。「火星人いるのかな」の問いかけには「いたー」という大きな声も聞こえ、銀河系よりももっと遠くまで宇宙旅行をして帰ってきました。宇宙は本当に広いですね。

5病棟に作った大きなドームでは天井投影とはまた違う迫力があり、先ほどにも増して地球を飛び立った様な気分になりました。ドームの中で火星を触ろうとTさんが高ーく手をあげていたのが印象的でした。

病院でプラネタリウムを見るという初めての体験は、患者様にとって大変貴重で有意義な時間になりました。



6月14日(水)にNPO法人「ミュージックシェアリング」の皆さんが訪問され、ヴァイオリンやビオラ、チェロの演奏を届けて下さいました。ミュージックシェアリングとは人々にとって音楽や音楽家がより身近なものとなるように、様々な音楽家の皆さんが音楽をとおして社会貢献活動を行っているものです。今回はこの活動の先導的な役割を果たし、20年以上も実践されてきた世界的にも有名なヴァイオリニストの五嶋みどり様と、世界で活躍されている若手演奏家3名の方がボランティアとして来院し演奏して下さいました。

五嶋様のご意向で、患者さん一人ひとりの目の前で演奏していただくことになり、各奏者の方からそれぞれ患者さんの目の前で素晴らしい音色を披露していただきました。当院でも様々な音楽を患者さんに聴いていただいておりますが、生の演奏は別格でした。静寂から一斉に解き放たれる4人の音色に、ある患者さんはぱっと眼を見開いたり、ある患者さんは体全身をびくっとふるわせ

たりする等、いつもとは違う迫力のある音色に圧倒されていました。その後の患者さんの目の前で披露していただいた演奏ではうっとりした表情や、沢山の笑顔が見られました。

弦楽器の生演奏がこれほど患者さん達を魅了するものなのだということができた素晴らしいひと時でした。ミュージックシェアリングの皆さん本当にありがとうございました。



看護学校だより 学校見学会を開催しました

附属看護学校 13 回生 室井 奈々

今年の学校見学会は7月8日(土)に開催されました。猛暑となりましたが、午前と午後の部のどちらもたくさんの高校生や社会人の方々が参加して下さいました。内容としては、教員による模擬授業や1年生による質問コーナー、3年生による沐浴、2年生による血圧測定、包帯法、心肺蘇生法、衛生学的手洗いや、注射法、老年体験などの看護技術を行いました。中でも2年生は、看護技術を人に教えるという行為は初めてだったため、分かりやすい説明をするなど、自身の看護技術向上を図ることができる良い機会となりました。また、来校された高校生や社会人の方の姿を見て、入学前の自分の理想の看護師像と看護学生像に、今は近づけているのではないかと改めて実感することができました。見学会終了時には、「看護学校の雰囲気を知れて良かった。頑張って入学したい。」などのご感想を頂いて、応援したいという気持ちと、自分自身もさらに頑張らなければならないという気持ちになりました。ご来校された方々にとっても、在校生にとっても、実りのある一日であったと感じました。



看護学校だより 今年も華翔祭でお待ちしています！

附属看護学校 13 回生 瀬谷 愛

昨年は「繁(わ)～Be together as one～」というテーマで13回目の華翔祭が開催されました。雨の中での催しとなりましたが、約300名の方々にご来場頂きました。「来年も来たいね。」との声も聞こえてきて、大きな支えになりました。今年開催される14回目の華翔祭は、「結(ゆい)」というテーマです。「結」という字には、バラバラなものを束ねて一つにするという意味があります。転じて、普段はなかなか一つになることがない地域の人々や様々なものとの縁やつながりを大切にしたいという願いを込めて、そのような華翔祭にしたいと思い、このテーマを選びました。今年は、昨年同様、血圧測定や毎年好評の手浴・足浴の他に、フリーマーケットや模擬店、学生による有志発表などを行います。更に、バルーンアートも午前のみ開催します。模擬店では、豚汁や玉こん、パフェ、焼きそばを販売します。学生・教員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。ぜひ、華翔祭に足をお運びください。



褥瘡・NST委員会共同勉強会「体圧分散と経腸栄養に関する褥瘡予防について」

褥瘡・NST委員会 柴田 元

6月20日（火）に褥瘡委員会とNST委員会共同で勉強会を開催致しました。勉強会は1時間の短い時間でしたが、病棟で日頃から行っている体圧分散と経腸栄養が同時に実技を含めて学べるということで多くのスタッフが出席しました。

皮膚は加齢とともに弾力性が低下しもろくなります。皮膚の刺激が続くと内出血や表皮が剥がれ褥瘡（床ずれ）が発生します。褥瘡は一旦出来てしまうと治療に多大な時間と手間がかかり、患者本人の苦痛や生活の質（QOL）の後退、治療の費用負担がとても大きい疾患と言われています。褥瘡の発生を未然に防ぐための方法として、体位変換、姿勢保持・ポジショニング、体圧分散マットの使用で、褥瘡が発生しやすい仙骨部などの圧力を軽減させていきます。また、経腸栄養を実施している患者について長時間注入をしていると同じ部位に圧力がかかりや

すくなるため、短時間で注入できる半固形栄養剤の使用や水を先に入れてから栄養剤を注入する水先注入にメリットがあることについて勉強しました。

褥瘡・NST委員会共同勉強会は今年4回実施されます。勉強会ではスキンケアや体圧分散などによる褥瘡ケアと褥瘡時の栄養に関する情報など、今後の職場で活用しやすい企画を考えております。多数の参加をお待ちしています。



健康プラザ

薬の保管について

薬剤科長 森 塚 宗 徳

今回は薬の保管について説明します。

薬は温度が高い場所、湿度が多い場所、日光が直接当たる場所に置くと、薬の成分が分解しやすくなります。

特に指示がない場合、薬は室温で保管するのが基本です。

「室温にて保管」といわれると一体何度で保管すれば？と思われることもあるのではないのでしょうか。室温とは、日本薬局方では1～30度と定められています。実際には、薬を保管するには25度以下ぐらいで問題ないと思います。高温多湿を避け、日光が直接当たりにくい部屋の引出しなどに保管しておくとういでしょう。真夏に車の中に置きっぱなしにしておくのは禁物です。

吸湿性が高い錠剤や粉薬などは、梅雨の時期など固まったり、変質したりしてしまいます。病院で処方された粉薬などは、乾燥剤と一緒にビニール袋や缶に入れて保管するのがおすすめです。服用の指示がわからなくならないよう、薬の袋ごと保管しましょう。冷蔵庫で保管すると、出し入れの際に温度差で湿気を帯びて薬の効果が落ちてしまうのでおすすめしません。

直射日光などにより色が変わってしまった薬は飲んで

はいけません。薬の色が変わってしまったということは、薬の成分が分解され、薬本来の効果が発揮できなくなっているからです。

小児のシロップや目薬、坐薬、未開封のインスリンなど「冷所保存」の薬もあります。これらは冷蔵庫で保管してください。ただし、冷凍すると薬の性質が変わってしまうので、冷凍保存は避け、解凍しての使用はしないでください。

子供の手の届かないところに保管しましょう。

小さなお子さんは、薬を誤って口に入れてしまうことがあるので、手の届かないところに置くだけでなく、蓋付きのものに薬を保管するなど、お子さんが自分で開けることができないようにしたほうがよいでしょう。

薬をしっかりと保管することで、思わぬ事故の予防にもつながります。薬の管理はきちんとおこないましょう。



地域医療連携室だより

登録医のご紹介

医療法人 秀和会

折笠クリニック



折笠 和栄 院長

須賀川市牡丹園の近くにある、折笠クリニックをご紹介します。折笠先生は昭和56年に福島県立医科大学をご卒業後、医大第二内科学講座に入局されました。その後、太田西ノ内病院、県立会津総合病院、国立療養所福島病院の勤務を経て、平成4年11月に開業されました。

クリニックでは、一般内科・胃腸科・消化器科・小児科を中心に診療を行っております。生活習慣病の予防や成人病対策・各種ガン検診・各種予防接種・禁煙外来、また在宅訪問診療も行っており、地域住民の心強い存在です。地域医療への貢献を理念に質の高い医療サービスの提供をモットーにご活躍されております。



●駐車場完備（30台）

●診療科 胃腸科・内科・小児科



0248-72-7065

	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 18:00	●	●	●	●	●	休診

休診日

土曜午後、日曜日

予約

検査のみ予約可

●〒962-0822 福島県須賀川市東作146-7

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ

福島病院の七夕（たなばた）

福島病院では今年も
各病棟や正面玄関前に七夕飾りを設置しました。
みんなの願いが叶いますように。



たんぽぽ保育園（院内保育園） 『おみこしワッショイ!!』

7月13日（木）気温が高く汗ばむ
中、たんぽぽ保育園の園児達が元気
いっぱいおみこしを担ぎました。



愛らしい姿に
みんなが笑顔に。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成29年7月1日より】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋	小 杉 茂	大 戸 斉 ※	安 田 千 尋
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第3)			山 根 完 二	
検 査				安 田 千 尋	
神 経 内 科	熊 谷 智 広 (第3)				
小 児 科	石 井 勉 (2・4) 福 島 医 大	氏 家 二 郎 勉 石 井 二 郎 勉	廣 瀬 千 穂	氏 家 二 郎 大 福 島 医 大	河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		氏 家 二 郎 勉 石 井 二 郎 勉			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)	平 山 恒 憲 (第2)			石 井 希 代 子 (1・3・5) 加 藤 朝 子 (2・4)	
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)		予 防 接 種 (午前・午後)		
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎 (予約制)				
小 児 外 科		清 水 裕 史 (第1・3)		山 下 方 俊 (第2・4)	
小 児 心 療 内 科					星 野 仁 彦 (月1回)
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2・4)			

※神経内科、小児神経外科、小児心療内科は再来のみとなります。

※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。

●外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。

●外来担当医表は平成29年7月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●4月から専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 8:30～17:15)

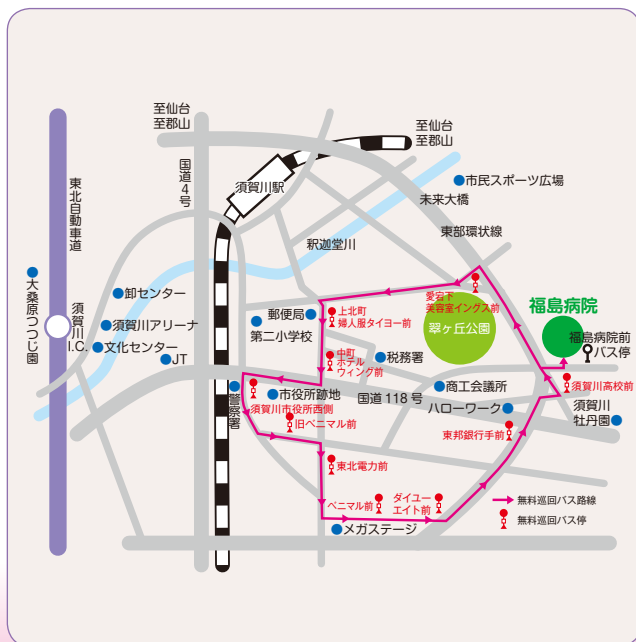
診療の予約・変更等 (月～金 13:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

暑さに加えて梅雨の湿気により、不快指数が高くなる時期となりましたが、病院内は冷房が入るようになり、快適に仕事が出来ようになりました。しかし一方で、食品にカビが生えたり、洗濯物が生乾きになったりと鬱陶しい時期でもあります。[四季]を楽しんで(?)乗り切りたいと思います。

(編集委員 K.N)



Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<http://fukushima-hosp.com/>